

至誠館大学

科目名	スポーツ社会学			コード	
英語表記	Sociology of Sport				
担当教員名	國木孝治			年度	平成28年度
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択
授業概要					
近代スポーツはこれまで、政治、経済、社会情勢に伴い変化してきた。近代スポーツの歴史を読み解いていくと、スポーツと暴力、スポーツと政治、スポーツと経済・コマーシャルイズム、スポーツと薬物などの問題が挙げられ、これらは現代においても課題を抱え続けている。スポーツは、華やかな舞台の反面、様々な問題を抱えて成長、発展してきた。本授業では、以下の授業計画の内容から、過去から現在に至るスポーツの諸問題及び課題について検討し、現代社会におけるスポーツの社会的機能・役割について理解を深めることを目的としている。					
到達目標					
・現代社会におけるスポーツの社会的機能・役割について考えていくための、基礎的なものの見方・考え方を身に付けることができる。 ・授業各回のテーマに沿い歴史軸をとりながら自らそのことについて説明することができる。					
授業計画					
第1回	ガイダンス。オリエンテーション：スポーツ社会学を学ぶ意義				
第2回	社会学・社会・結社・文化とは。スポーツ社会学とは				
第3回	スポーツ社会学研究の略史。スポーツ社会学における時代区分				
第4回	スポーツの役割・価値・規範とは。スポーツ文化とは				
第5回	日本の歴史と体育・スポーツ（日本的スポーツ集団の成立過程）				
第6回	国際比較とスポーツ				
第7回	スポーツと地域社会（地域スポーツの実例）。東日本大震災とスポーツ（地域スポーツの実例）				
第8回	スポーツと経済：スポーツとマスメディア				
第9回	スポーツと政治：ドーピング問題を考える				
第10回	スポーツと政治：オリンピックとスポーツ				
第11回	障がい者とスポーツ				
第12回	スポーツと暴力				
第13回	スポーツとジェンダー				
第14回	スポーツ環境と政策				
第15回	まとめ。スポーツの今後の展望				
評価方法と基準			評価項目と割合		
授業出席状況、授業態度・意欲、毎授業時に実施する小レポートを基に、総合的に評価する。			授業態度	期末試験	レポート
授業外学習			テキスト、教材		
			適宜配布		
参考書			受講生へのメッセージ		
・森川貞夫・佐伯聰夫編(1998)スポーツ社会学講義、大修館書店：東京。 ・森川貞夫・依田充代(2001)今日からはじめるスポーツ社会学、共栄出版：東京。 ・依田充代(2004)改訂スポーツ社会学－歴史から学ぶスポーツの未来－、共栄出版：東京。					
キーワード					
・地域スポーツ　・オリンピック/パラリンピック　・スポーツ基本法　・スポーツ庁　・体育とスポーツ					